

「船舶勘定見直し方針」フォローアップに関する懇談会について

1. 目的

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構の船舶勘定においては、内航海運事業者と費用を分担し、また技術支援も併せて船舶の建造を行う船舶共有建造業務を実施している。

しかしながら、近年、同勘定においては、未収金・引当金が存在していること等により繰越欠損金と債務超過の額が膨らんでおり、財務改善策を講じる必要があることから、平成16年末に「内航海運効率化のための鉄道・運輸機構船舶勘定見直し方針」を策定・公表し、業務・財務の改善方策を取りまとめたところである。

同方針において設置することとされている、進捗状況のフォローアップを行うための外部専門家で構成される組織として本懇談会を開催し、公表資料で把握できる定量的指標を用いた進捗状況の評価及び公表を行うことを目的とする。

2. 予定

以上の目的のもと、有識者による検討を年2回ずつ、重点集中改革期間終了直後まで開催する。